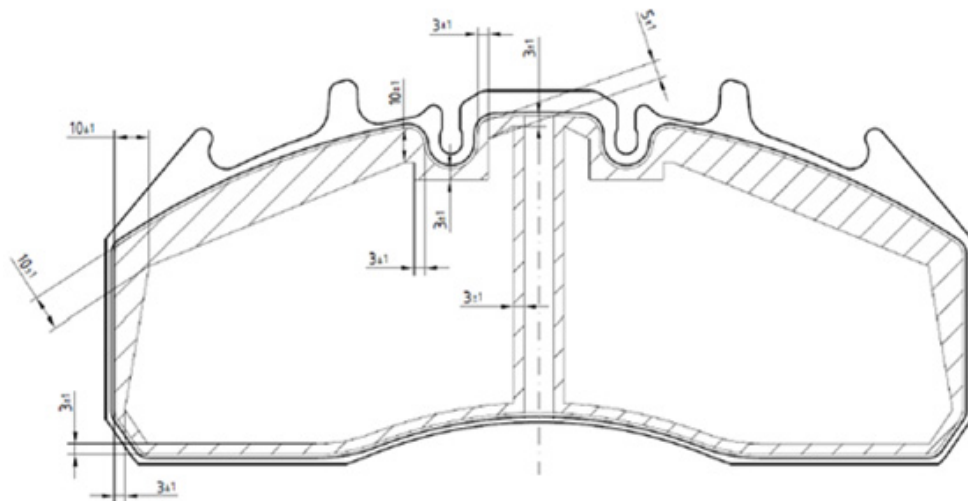


2017年式クオン ブレーキパッド

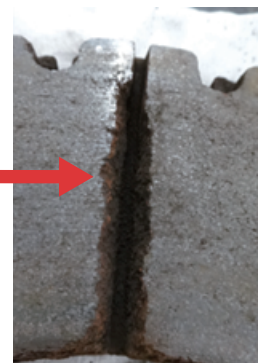
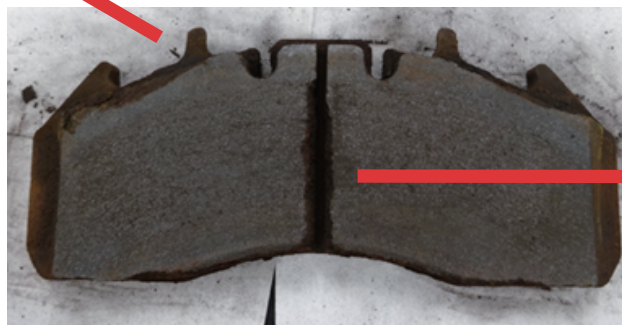
2017年式クオンで使用しているディスクブレーキのブレーキパッド点検において摩耗量以外のダメージがあった場合の判断基準を展開致します。

■パッドの欠けについて

下記斜線部内でかつローターとの当たり面積の10%までのエッジの欠けは許容範囲内でブレーキ性能として問題ありません。



■実際の例

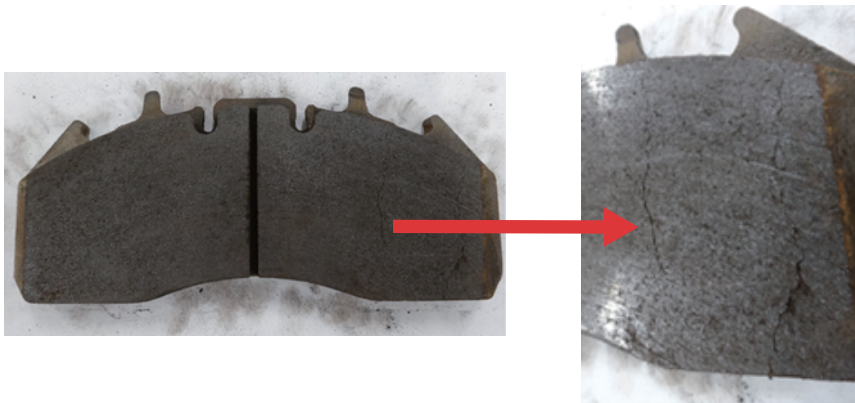


おことわり

メンテナンスにおいて、UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証の対象になりませんのでご注意ください。

■パッド表面のひび

下記写真のような表面的なヒビは許容範囲で、ブレーキ性能として問題ありません。

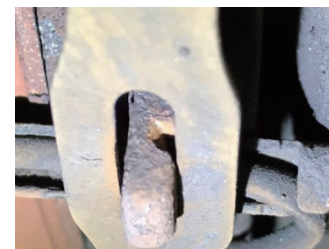
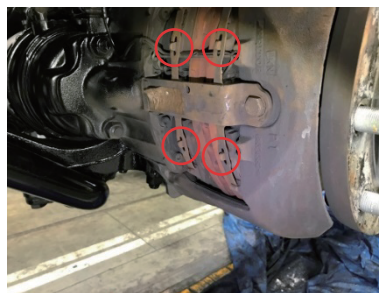


■パッドイヤーの割れ

パッドイヤーが割れていても、折れていなければ使用は問題ありません。
なお、タイヤ脱着時、本パッドイヤーと干渉してパッドイヤーを損傷させる場合があるため、取り扱い説明書記載の注意事項を遵守願います。



パッドイヤーが欠けた例



正常なパッドイヤー組付状態

取扱説明書抜粋



補足

- ① ブレーキパッド欠けの原因は、泥や水による磨滅、または、飛散された小石等の異物との干渉による部分的な割れです。
錆・腐食などパッド材料自体の劣化で時間とともに成長することはありません。
但し走行環境による影響（砂利、水飛散頻度など）
- ② パッド面積の極端な減少はパッドの摩耗やフェードに影響がありますが、それを勘案して、通常の使用条件下ではパッドの摩耗や発熱は変わらない範囲として、今回のパッド欠け、表面ひびの判断基準にしています。
パッドの摩耗やフェードについては 異常が起きる前に運転者に知らせる警報があり 安全上問題ありません。